

令和7年3月7日

奈良市保健所保健予防課

0742-93-8397

麻しん（はしか）の注意喚起～麻しん患者の発生について～

令和7年3月5日（水）、奈良市内の医療機関から麻しん（臨床診断）の届出があり、奈良県保健研究センターで検査を実施したところ、3月6日（木）、麻しんウイルス陽性であることが判明しました。

今後の感染拡大を防止し、注意喚起のため報道発表します。

報道に際しては、患者のプライバシー保護及び施設の風評被害にならないよう、十分配慮していただきますようお願いいたします。

1 患者概要

年代・性別：20歳代、女性

症状：発熱、咳、発疹

予防接種歴：1回

経過：3月 1日（土） 海外から帰国
 3月 2日（日） 咳が出現（発症日）
 5日（水） 市内医療機関より発生届（咳、発熱、発疹）
 6日（木） 奈良県保健研究センターにて麻しん PCR 検査実施し、陽性判明

2 患者が利用し、不特定多数の方と接触した可能性がある日時及び施設等

日付	滞在時間（目安）	施設等
3月1日 （土曜日）	12：45～13：30	関西国際空港第1ターミナル
	13：35～14：14	関西空港駅(13:35 発)→なんば駅 (南海電鉄ラピートβ62号1号車)
	14：15～15：00 頃	南海電鉄 なんば駅から近畿日本鉄道 大阪難波駅への移動経路
	15：02～15：39	近畿日本鉄道 大阪難波駅(15：02 発)→ 新大宮駅（奈良行き急行電車）
3月5日 （水曜日）	18：00～18：10	奈良交通バス 紀寺町(17：59 発) → J R 奈良駅（市内循環・外回り）

（注）施設等への問い合わせは御遠慮ください。

～注意喚起の内容～

- ① 麻しん患者と接触した場合は、潜伏期間を考慮し、接触後21日間の健康観察が必要です。
- ② 同日の時間に上記施設等を利用した方で、最終利用日から3週間（21日間）の間に発熱・風邪症状・発疹の症状が出現した場合は、医療機関の受診が必要です。
受診する前に最寄りの保健所に連絡するか、必ず事前に医療機関に連絡し、「麻しんかもしれない」ことを伝えたいうえで指示に従ってください。連絡なく医療機関を受診することは絶対にやめてください。
- ③ 麻しんウイルスは空気中での生存期間は2時間以内とされています。麻しん患者の利用日以外に当該交通機関・施設を利用された場合は、感染のおそれはありません。

【参考】

麻しんは、麻しんウイルスによって引き起こされる病気で、典型的な症状としては、感染の約10日後に発熱や風邪症状が始まり、2～3日発熱が続いた後、39℃以上の高熱とともに発疹が出現します。全身の免疫力が低下するため、肺炎・中耳炎・脳炎などを合併することもあります。

予防接種を1回も受けていない乳児や妊婦が発症すると重症化や流産する危険もあります。定期の予防接種は、1歳児と就学前の幼児（年長児）です。対象者はできるだけ早めに受けるようにしましょう。

詳しくは、奈良市ホームページ「麻しん（はしか）に注意しましょう！」をご確認ください。

<https://www.city.nara.lg.jp/soshiki/98/7645.html>

<麻しん患者の発生状況>

年	R2	R3	R4	R5	R6
奈良市	0	1	0	0	1
奈良県 (奈良市含む)	0	1	0	0	2
全 国	10	6	6	28	45